

KUSANAGI

KUSANAGI

マネージドサービス
for

文教

サービス導入事例集

KUSANAGI

マネージドサービス

for

文教

サービス導入事例集

CONTENTS

国立大学法人 金沢大学様 「国立大学法人 金沢大学」	AZURE	3
国際基督教大学 (ICU) 様 「学内ポータルサイト」	AZURE	4
東京工科大学様 「東京工科大学 緊急用お知らせサイト」	AZURE	5
東京工科大学様 「東京工科大学 学内者専用サイト (イントラサイト)」	AZURE	6・7
國學院大學様 「國學院大學」	AZURE	8
昭和女子大学様 「昭和女子大学」	AZURE	9
インターキャスト、青山学院様 「青山学院公式サイト」		10
早稲田大学弓道部様 「早稲田大学弓道部」	ConoHa	11
独立行政法人 国際交流基金様 「日本語能力試験 オンライン登録システム」	Infyns Cloud	12
日本クラブ様 「The Nippon Club」	AZURE	13

国立大学法人 金沢大学

合格発表時の莫大なアクセスに余裕の対応

「国立大学法人 金沢大学」

同時リクエスト数3,000件でもストレスフリーなwebサイトに。万一の時の対応も一元化することが可能に。

KUSANAGI for Microsoft Azure

大学公式サイト

マイグレーション 高速化チューニング ELBアップデート環境

レスポンスの高速化 セキュリティ強化 運用コスト削減

PV数向上 常時SSL化 高アクセス対策

運用効率の改善 迅速な対応 技術相談



■ お客様情報

サイト名：国立大学法人金沢大学
サイトURL：https://www.kanazawa-u.ac.jp/

運営会社：国立大学法人金沢大学
本社所在地：金沢市
事業内容：大学・教育

■ 「KUSANAGI」導入前の課題

アクセス集中時のwebページ表示遅延。ミドルウェアからコンテンツ制作まで一元対応を希望。

■ 「KUSANAGI」導入後

ミドルウェアからコンテンツまで一元的にメンテナンスを依頼できるようになった。パフォーマンスが飛躍的に向上し、合格発表時などアクセスが集中する時でもストレスなく閲覧できるようになった。バックログの共有により、プロジェクトの状況や概要が一目瞭然でいつでもすぐに理解できるようになった。



金沢大学情報部情報推進課情報化推進係
猪嶋 哲也氏

より効果的なマーケティングを実現するために

金沢大学の源流は、1862（文久2）年に創設された加賀藩彦三種彦所にまで遡ることができる。150年以上にわたる歴史を経て、現在の日本海側にある基幹的な総合大学へと発展し、日本の高等教育と学術研究の興隆に大きな貢献をしてきた。長い歴史と伝統を誇る同大学は、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」を大学憲章に掲げ、より柔軟な学びのシステムとするため、従来からの学部学科制を学域学類制へと改革し、2008年度に新生・金沢大学として新たなスタートを切った。学域学類制では最終的な主専攻を後から決めることができる経過選択制と、幅広い学習の機会を提供する副専攻制により、学生個々の目標に沿った自由な学びを組み立てることができる。こうした環境で学び、巣立った多くの人材は、すでに各分野で活躍し始めている。

同大学で学ぶことを望む受験生は多く、合格発表時、webサイトにはアクセスが集中する。これに対応すべく、2016年7月にwebサーバをMicrosoft Azureへ移行、その後、WordPressのパフォーマンス改善を目的として、2017年10月にプライム・ストラテジーの「KUSANAGI」の導入に踏み切った。これにより、スムーズなweb表示と高メンテナンス性を手に入れたことになる。

合格発表時のアクセスの集中に耐えられるweb環境を

知的基盤社会の中核的リーダーとなる人材を育成し、また、2008年度から導入した「学域学類制」による、より柔軟な学びの環境を提供する金沢大学で学びたいと考える受験生は多い。合格発表時には、webサイトへのアクセスが集中し、それによるページの表示遅延が課題となっていた。オンプレミスでの既存環境では対応が難しくなってきたと考え、2016年7月にwebサーバをWindows Azureへ移行し、自由自在に増減できるサーバリソースを手に入れた。ところが、2015年4月に導入したWordPressのパフォーマンスはなかなか改善されず、新たな打開策が必要となっていた。まずは、当時webコンテンツ作成を委託していた業者にApacheやMySQLのチューニングを依頼することにした。だが、これまで依頼していた業者では、web制作とミドルウェアの管理は、それぞれ別の会社に依頼するほかなく、障害発生時の責任分界点が不明瞭になってしまう点が問題視されていた。こうした背景を踏まえ、今後のことを考えれば、webサイトの制作とミドルウェアの対応の双方ができる業者が必要であった。



金沢大学総務部広報室戦略企画係
張田 剛氏

2017年度のPV(アクセス)数17,000件に耐えた新web環境

そんな中紹介されたのはプライム・ストラテジーだった。ミドルウェアの知識を十分もち、WordPressを使用したコンテンツ制作やプラグインの設定も依頼できるプライム・ストラテジーの存在はまさに求めていたものだった。「KUSANAGI」の導入プロジェクトは問題なく、スムーズに完了し、WordPressのパフォーマンスは飛躍的に向上した。受験シーズンを迎える前に行ったテストは、800台のPCからwebサイトへ一気にアクセスするというもので、これも動作に問題はなく、アクセスの集中による表示遅延はおこらなかった。準備万全で臨んだ2018年3月の合格発表日。この日のアクセス数は最大で17,600件/分に及んだがWebサイトの表示遅延が起きることはなかった。同大学 情報部情報推進課情報化推進係 猪嶋 哲也氏は次のように語る。「スケジュール通りのスムーズな導入に加え、特に大きな障害も発生することなく、健全なWeb運営ができています。何か問題が発生しても、プライム・ストラテジーに連絡することで解決できるようになったため安心です。」

充実の保守体制で問題もスピード解決

同大学が導入した「KUSANAGI」だが、webサイトの健全な運営に役買っているものとして、保守サポートサービスを上げている。たとえば、同大学では、HTTPS（暗号化）対応をした際に、一部のJavaScriptがHTTPSに対応していない箇所があり、動作しなかったことがある。こうした問題もすぐに対応されている。従来であれば、ミドルウェアやコンテンツに問題があった時には、それぞれを得意とする企業へ委託することになり、各業者との調整に工数がかかっていた。また、こうした場合、それぞれが別で動くため、障害発生時の原因の切り分けや責任分解が難しくなることが往々にしてある。プライム・ストラテジーの保守サポートサービスであれば、こうしたわずらわしさから解放され、何か問題が起きれば電話一本で、すぐに解決に向けたアプローチをとっていく。またこれまでのシステム保守の状況はバックログ（ASP型のプロジェクト管理ツール）で共有されているため、過去の経緯や現在の状況をすぐに確認することができるため、途中からプロジェクトに加わったスタッフへの共有がスムーズだ。プライム・ストラテジーの保守を間近で見ている同大学の猪嶋氏によれば、「スムーズなプロジェクト進行に加え、万一の時の対応も一元化することができたのでとても助かっています。運用方法や機能追加等の相談の依頼をしてもその日の内に対応頂けるのでとても印象が良いです。」

国際基督教大学 (ICU)

国際基督教大学 (ICU)

「学内ポータルサイト」

学内ポータルサイトを安全で快適に閲覧できる環境は魅力的ですね。

KUSANAGI for Microsoft Azure イントラサイト

- スマートフォン対応
- KUSANAGIフルマネージド
- WordPressアップデート
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- プラグイン最適化
- 技術相談



■ お客様情報

運 営 会 社：国際基督教大学 (ICU)
サ イ ト 名：学内ポータルサイト

サ ー ビ ス イ ン：2017年12月
利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure

■ 旧サイトの課題

CMSがスマートデバイスに対応していなかった。セキュリティの強化が求められていた。ファイル検索機能が弱く、欲しい情報を見つけることができなかった。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

学生に向けてスマートデバイス対応ができた。WordPressサイトを安全に使用することができた。プラグインの選定などの技術的なサポートを得られた。



国際基督教大学 大学事務局長
ITセンター長 / 研究戦略支援センター部長
畠山 珠美様

プラグインの選定、運用、システムの保守を含めて プライム・ストラテジーに委託

国際基督教大学 (ICU) が以前使用していた有料ライセンスCMS、は5年前に導入したものでした。この有料ライセンスCMSは、パソコン用のブラウザとフィーチャーフォンには対応していましたが、スマートフォンなどのスマートデバイスには対応していませんでした。現在、大半の学生がスマートデバイスで情報共有をしているため、スマートデバイス対応は必須でした。

そこで、新しくCMSを選定することになり、選定の候補に挙がったのが国内外でトップシェアを誇るWordPressでした。以前より注目はしていましたが、どうしても脆弱性の問題やプラグインの選定の件など、ICUが採用するにあたってクリアしなければいけない課題があり、

迷っていました。

そのような時にプライム・ストラテジーから提案いただいたのが「KUSANAGI for Microsoft Azure」です。「Microsoft Azure」は以前から利用しておりセキュリティ面、パフォーマンス面で安定した評価がありました。「KUSANAGI for Microsoft Azure」はWordPressのセキュリティ面の強化がはじめから行われており、安全なサイト運用ができる実行環境としてICUは評価しました。結果的にプラグインの選定、運用を含めた技術的サポート、システム全体の保守を含めてプライム・ストラテジーに委託することにしました。今後スマートデバイスに対応したWordPressサイトを健全に運用できることを期待しています。



学生と教員の割合は18：1、学生一人ひとりへのきめ細かな指導が特徴

国際基督教大学は、1953年に日本で初めて大学名に「国際」を冠するとともに、日本初のリベラルアーツ・カレッジとして献学された大学です。同学はキリスト教の精神にもとづき、「国際的社会人としての教養をもって、神と人ともに奉仕する有為の人材を養成し、恒久平和の確立に資すること」を大学の使命として定めています。学生約3000名に対して教員が160名程おり、学生と教員の割合が18：1と教員の割合が高い事が特徴で、少人数教育を実践しています。

履修登録や大雪の時などアクセスが集中する時でも快適に閲覧できる学内ポータルサイトが欲しかった

ICUのWebサイトが改ざんされたりすることは、信頼失墜につながるためセキュリティ対策はとても重要です。そして、学生がアクセスする学内ポータルサイトは学生の履修登録や大雪の時などアクセスが集中することが多いため、快適なWebサイト閲覧を実現するうえで高速であることを重要視しています。ICUは「KUSANAGI for Microsoft Azure」を採用することにより、高速なWebサイト環境を実現いたしました。また今後、運用面では「KUSANAGI公式サポートサービス」による健全なアップデートが可能になり、高いセキュリティが確保され、WordPressをより安全に利用することができようになることでしょう。学内ポータルサイトを安全で快適に閲覧できる環境は魅力的ですね。

国際基督教大学学内ポータルサイト 構成について

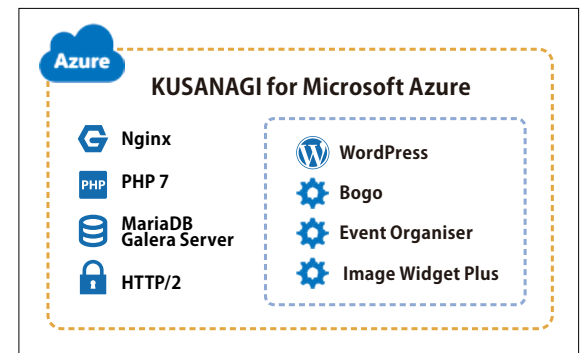
国際基督教大学学内ポータルサイトはフロントにNginx、PHP 7、DBにMariaDB Galera Serverを採用しています。最新のHTTP/2プロトコルに対応し、常時SSL環境にて運用しています。

KUSANAGI for Microsoft Azure

<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-microsoft-azure-arm/>

KUSANAGIについて
<https://kusanagi.tokyo/>

KUSANAGI公式サポートサービスについて
<https://kusanagi-hosting.com/>



教職員から学生への情報発信をするためのサイト

「東京工科大学

学内者専用サイト(イントラサイト)」

つい先日、大きな脆弱性が見つかりました。しかし、このような時こそ、経験値と技術力が高いプライム・ストラテジーに運用を委託していれば安心です。

KUSANAGI for Microsoft Azure イントラサイト

- スマートフォン対応
- KUSANAGIフルマネージド
- 複数台構成
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 管理画面高速化
- 運用効率の改善
- 技術相談



■ お客様情報	
運 社：東京工科大学	サービスイン：2017年4月
サイ 名：学内者専用サイト	利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure
サイ URL：非公開	KUSANAGI公式サポートサービス
■ 旧サイトの課題	
商用CMSは難しい操作が多く辞易していた。スマートフォンデバイスへの対応ができていなかった。可能であれば有償のCMSから無償のものへ移行したかった。	
■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果	
作業時間が3分の1になり、コンテンツの情報発信が簡単になった。スマートフォンデバイスに対応できた。安価な運用が可能になった。	



東京工科大学八王子キャンパス
事務局 業務課
大竹 新治様

リテラシーを問わず誰でも簡単に操作ができるようになりました

今回、「WordPress」「KUSANAGI」「Microsoft Azure」の組み合わせで構築していただいたWebサイトは「学内者専用サイト」というサイトで、教職員から学生への情報発信をするためのイントラサイトです。教室変更、休講情報、アルバイト情報、落とし物など、一般的な学生への「お知らせ」や、各学部向けのコンテンツを配信しております。今回のWebサイトは大きなスクリプトを作ることもせず、標準的なコンテンツの更新・画像を表示するくらいの作業になりますが、少し操作方法を説明したただけですぐに実務に利用できました。今思えば以前使用していた商用CMSは難しい操作が多く、辞易していました。それに較べて、WordPressは操作が本当に簡単だと思いました。現在、運用に関わっている20名くらいのスタッフはMicrosoft Officeが触れる程

度のITリテラシーですが、誰でも簡単に更新作業ができました。

高速化とセキュリティの強化を期待して「KUSANAGI」を採用

以前使用していた有償のCMSはもとも、他のサイトをリニューアルする際に一緒に構築していただいたプロ仕様のCMSでした。プロフェッショナルな人材がSEOを考慮しながらWebページを作り上げていくCMSなので、今回のWebサイトのような「お知らせ」を発信するような作業には不向きで、「お知らせを出すだけなのに何でこんなに大変なんだ」と思っていました。また、スマートフォンデバイスへの対応もまだできていませんでした。これらを一掃する目的で、「WordPress」「高速化」「セキュリティ強化」「レスポンスデザイン」の全てに対応している「KUSANAGI」を採用しました。「Microsoft Azure」については、以前より全学生の情報を管理する「学生カルテ」で使用している実績もありセキュリティについては高い信用もあったので、今回も採用いたしました。

「KUSANAGI for Microsoft Azure」は二回目の採用、進めやすかったです

本学の場合、他大学とは違い運用体制が、「総務」と「経理」など複数部門に分かれておらず、事務局業務課が主導し、他部署と連携した協力体制が確立していたため、クラウド化を実現しやすかったのだと思います。また本学は最先端のものを取り入れて環境を良くしていく文化があるため、クラウド化を進めやすかったということもあります。さらに今回導入した「Microsoft Azure」は、他のサイトや他のシステムでも既に導入済みのクラウドであり、「KUSANAGI for Microsoft Azure」も今回で二回目の採用なので既存システムと親和性が高かったのもあります。「Microsoft Azure」については、セキュリティ面でも安心できるクラウドだと考えています。

nginxの制限により三重ロックにすることが可能に

「KUSANAGI」の効果は他にもあります。例えばnginxの制限により、WordPressのログインも含めて三重ロックにすることが可能になりました。また見た目のみならず内容的・機能的にもすっきりとした見やすいサイトになったと思います。WordPressはITリテラシーがあまり高くないチームでも運営ができるCMSです。ただ、WordPressは簡単に運営ができる便利なCMSですが、つい先日、大きな脆弱性が見つかりました。しかし、このような時こそ、経験値と技術力が高いプライム・ストラテジーに運用を委託していれば安心です。

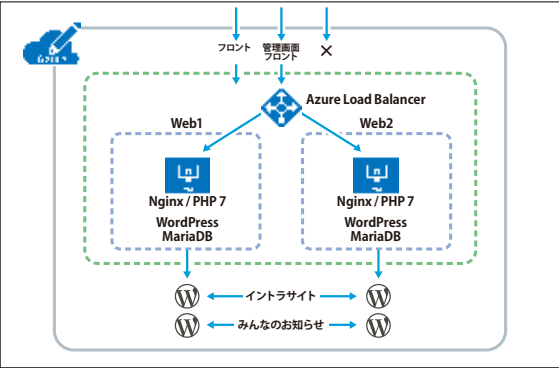
東京工科大学学内者専用サイト構成について

東京工科大学学内者専用サイトのサービスは、フロントにnginx、PHP 7、DBにMariaDB Galera Serverを採用。最新のHTTP/2プロトコルに対応し、常時SSL環境にて運用しています。

KUSANAGI for Microsoft Azure
<https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-microsoft-azure-arm/>

KUSANAGIについて
<https://kusanagi.tokyo/>

KUSANAGI公式サポートサービスについて
<https://kusanagi-hosting.com/>



東京工科大学 八王子キャンパス
事務局 業務課
松本 憲太郎様

関係者向け緊急時の連絡用

「東京工科大学

関係者向け 緊急用お知らせサイト」

スマートデバイスやPCから同時に大量のアクセスを頂き、瞬間的に同時400アクセスを記録しましたが、どのデバイスからもストレスなく閲覧ができました。

KUSANAGI for Microsoft Azure 情報サイト

CMSサイト開発パッケージ

KUSANAGIフルマネージド

レスポンスの高速化

セキュリティ強化

運用コスト削減

PV数向上

常時SSL化

高アクセス対策

運用効率の改善



■ お客様情報	
運 営 会 社：東京工科大学	サ イ ト U R L：https://emg.teu.ac.jp/
サ イ ト 名：関係者向け緊急時の連絡用	サ ー ビ ス イ ン：2016年10月
「東京工科大学 緊急用お知らせサイト」	
利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure	
■ お客様の課題	
学外 / 学内サイトの障害時にも、関係者に安定して緊急情報を発信する仕組み（別サイトも含め）がなかった。緊急時などアクセス集中時にも高速かつ安定的に運営できるセキュアなWebサイトを安価に構築する必要があった。管轄部門が学外サイトに緊急情報を、ダイレクトかつ迅速に情報を発信できるサーバが必要だった。	
■ KUSANAGI for Microsoft Azureの採用理由	
平常時のアクセスが少ない時は安価に運営でき、突発的に発生する緊急時にアクセスが集中しても、クラウドスベックに依存せずに超高速かつ安定的に稼働できるため。WordPressというCMSの良さと、コンテンツ拡充、情報の更新が簡単にできるため。今後リプレースを検討している他の学内イントラサイトで、サーバやCMSでの運動がしやすいため。	



東京工科大学 八王子キャンパス
事務局 業務課 課長
早川 和美様

投資対効果の高さと安定性の高さから、 「KUSANAGI for Microsoft Azure」を採用しました

東日本大震災の教訓を生かし、本学では災害時運営マニュアルを作るようになりました。これにより災害時などの緊急時に最大限、適切に対応できるようになりました。一方で、震災時や火災など全学生や教職員に対する情報発信を事務局から行える仕組みが必要であり、その検討を始めていました。当時は学外・学内向けのWebサイトが同一上のCMSで稼働していたため、Webサイト障害などがあると、Webサイトから情報発信が行えないケースもあり、学外と学内向けのCMSを分ける必要がありました。

ちょうどその時に「KUSANAGI for Microsoft Azure」上でWordPressを稼働させる提案



東京工科大学 八王子キャンパス
事務局 業務課
松本 憲太郎様



東京工科大学八王子キャンパス
事務局 業務課
大竹 新治様



日本マイクロソフト株式会社
マーケティング＆オペレーションズ部門
セントラルマーケティング本部
コマーシャルマーケティンググループ
エグゼクティブマーケティング
スペシャリスト
久木田 弦様

をいただきました。「KUSANAGI for Microsoft Azure」は超高速にWordPressを稼働させることができるため、平常時は低コストの運用費で済み、有事のアクセス集中時にも「KUSANAGI for Microsoft Azure」のハイパフォーマンスさから、安定的にストレスのないWebサイト閲覧ができます。この投資対効果の高さと安定性の高さから、「KUSANAGI for Microsoft Azure」を採用しました。

クラウド環境にMicrosoft Azureを採用された理由は何ですか

既に学内の業務システムをMicrosoft Azure上で稼働させており、信頼性と安定性を評価していました。「関係者向け緊急用お知らせサイト」は、有事において極めて重要なサイトであることから、安心して運営できるMicrosoft Azureを採用しました。

また、日本マイクロソフトはパートナー支援がしっかりしているのと、プライム・ストラテジーに質問してもすぐにレスポンスがあったので、その点も採用理由として評価しています。実際にプライム・ストラテジーの対応はとても迅速でした。

「KUSANAGI for Microsoft Azure」の導入後の印象をお教えてください

「関係者向け緊急用お知らせサイト」は最大時、月間で一万PVを記録していますが、全く問題なく快適に閲覧できています。今回は1万人が集中的にアクセスしても耐えられる設計を実現しています。一方で平常時はアクセスがほぼないため、平常時は最低限のクラウドスベックで運営し、ランニングコストの最適化を図っています。この投資対効果が高いWebサイトを実現できているのも「KUSANAGI」のハイパフォーマンスさがあってこそと考えています。

体感では、ページキャッシュを使わずに従来のCMS環境と比較して10～15倍速くなっていると感じています。特にページキャッシュに依存しなくても、管理画面は本当に速くなりました。

「関係者向け緊急用お知らせサイト」はそのサイトの性質上、大規模な災害の時などにアクセス数が集中し、サイトに負荷がかかります。そのような時でも迅速にコンテンツの更新をしなければいけないため、超高速なWebサイトが求められます。「KUSANAGI for Microsoft Azure」はまさにこのような環境に相応しい仮想マシンであると考えています。

「関係者向け緊急用お知らせサイト」でこだわって構築した部分は何でしょうか

台風や大雪が降った後、必ず学生はこのサイトを見に来ます。その際に絶対落ちないようなサイトにしたいと思い、今回構築しました。「関係者向け緊急用お知らせサイト」がオープンした時に学生にこの旨を周知しました。その際にスマートデバイスやPCから同時に大量のアクセスを頂き、瞬間的に同時400アクセスを記録しましたが、どのデバイスからもストレスなく閲覧ができていたようです。

画面周りとはとにかくシンプルに作りたいかったです。これは緊急時でも直感的に情報を取得でき、ページを遷移できる必要があったためです。

WordPressの感想をお聞かせください、CMSとして使いやすいですか

従来は他のプロ仕様のCMSを使用していました。プロ仕様がゆえに、機能を理解している担当であればかなりのサイトコンテンツを柔軟に作ることができます。しかし、「関係者向け緊急用お知らせサイト」は有事に対応できる教職員がコンテンツを更新できる必要があります。WordPressは全職員が使えるCMSであり、今回の要件にぴったりのCMSであったと考えています。



今回は短納期での構築となりましたが

今回はデザインは最低限な要望をプライム・ストラテジーに伝え、微調整を行いながら、2週間という短期間で構築頂きました。プライム・ストラテジーは対応が迅速な印象を持ちました。サービスイン後の個別対応も迅速に対応頂きました。

セキュリティについて、いかがでしょうか

昨今、公共や学校は狙われることが多いので特に注意が必要であると考えています。その点、日本マイクロソフトは日本でも数少ない、クラウドセキュリティゴールドマークを取得しています。セキュリティに厳しいお客様からも高く評価されています。

マイクロソフトはグローバルでクラウドを展開していることから、セキュリティの面、パフォーマンスの面、品質の面でも成長が速いです。このラーニングスピードの速さがシェアを拡大している要因の一つであると考えています。

「KUSANAGI」を導入検討中の方に一言お願いします

WordPressは「KUSANAGI」との組み合わせで使用することによりセキュリティが強化されるため、その点でもセキュアなサイトになっていると思います。また、「KUSANAGI」公式サポートサービスを利用いただいているため、メンテナンスの点でも安心してご利用いただけます。



プライム・ストラテジー株式会社
取締役
吉政 忠志



プライム・ストラテジー株式会社
SI事業部
小杉 崇文



プライム・ストラテジー株式会社
マーケティング課 課長
楠木 大三郎

■ サイトのご紹介

「東京工科大学 関係者向け緊急用お知らせサイト」

台風・大雪などの気象状況の悪化や地震などの災害による休講情報等、東京工科大学が学生・教職員並びに非常勤講師の方々に提供している各種ITサービス(学生ポータルサイトなど)や、ネットワーク障害・メンテナンス情報等の緊急のお知らせがある場合は、この「東京工科大学 関係者向け緊急用お知らせサイト」で情報を発信します。

■ 「KUSANAGI」の活用効果

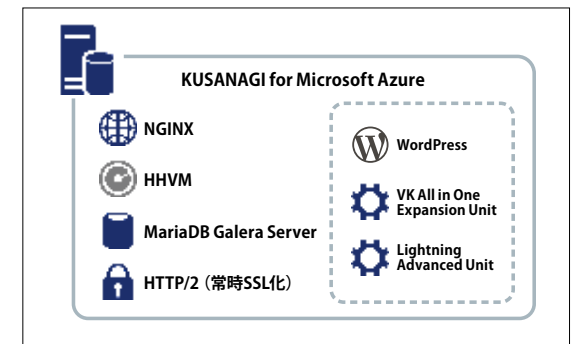
1. 緊急時に全学生・教職員・非常勤講師等のアクセスが集中した場合でもストレスなく稼働するWebサイトを安価に構築・運営できた
2. 緊急時に事務局から直接情報発信できる、耐障害性の高いWebサイトを構築できた
3. ITリテラシーが高くない担当者でも、簡単に情報発信できるWebサイトを構築できた



東京工科大学 八王子キャンパス全景

東京工科大学 関係者向け緊急用お知らせサイトの構成について

東京工科大学 緊急用お知らせサイトのサービスは、フロントエンドにnginx、PHP7、DBにMaria DB Galera Serverを採用しています。



参加者

東京工科大学：

早川 和美様(八王子キャンパス 事務局 業務課 課長)

松本 憲太郎様(八王子キャンパス 事務局 業務課)

大竹 新治様(八王子キャンパス 事務局 業務課)

日本マイクロソフト株式会社：

久木田 弦様(セントラルマーケティング本部 コマーシャルマーケティンググループ

エグゼクティブマーケティングスペシャリスト)

プライム・ストラテジー株式会社：

吉政 忠志(インタビュアー/取締役)

楠木 大三郎(マーケティング課 課長)

小杉崇文(SI事業部)

日本を学び、世界に貢献できる人材育成を目指しています

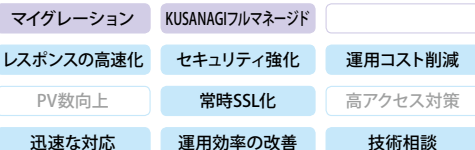
「國學院大學」

「KUSANAGI」と「KUSANAGI公式サポートサービス」は、最適な提案とコストバランスに優れたセキュリティ対策が初めから備わっているため、非常に導入しやすかったと思います。



KUSANAGI for Microsoft Azure

大学公式サイト



■ お客様情報

運 営 会 社：國學院大學
サ イ ト 名：國學院大學
サ イ ト U R L：https://www.kokugakuin.ac.jp

利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure

■ 旧サイトの課題

インフラ系担当の会社とアプリ担当の会社に分かれており、問題発生時の切り分けが難しいと考えていた。基幹的なシステムなのに技術的問題発生時に対応を速やかに行えなかった。WordPressのセキュリティに関して担保ができなかった。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

コストバランスの良いセキュリティ対策を導入できた。実際に使ってみて操作性やWordPressの速さ、PHPのバージョン切り替えなど、全体的な使いやすさが良かった。



情報システム課 課長
後藤 幸雄様

コストとセキュリティのバランスが素晴らしかった

今回構築したWebサイトは大学の基幹システムでもあり、学生の情報を扱っているため、セキュリティには非常に気を使っています。コストをかければかけただけのセキュリティを高めることは可能ですが、セキュリティとコストのバランスを考えなくてはなりません。その点では「KUSANAGI」と「KUSANAGI公式サポートサービス」は、最適な提案とコストバランスの良いセキュリティ対策が初めから備わっているため、非常に導入しやすかったと思います。今まではオンプレにWindowsサーバーを使用し、Hyper-Vで仮想環境を作り、Linuxを動かしていました。「KUSANAGI for Microsoft Azure」が使用できると知り、試用期間を経て検討していました。

もっと日本を、もっと世界へ

國學院大學は、明治15年に創設された皇典講究所を母体とし、大正9年にわが国で初めて認可された私立大学のひとつです。文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部の5学部13学科および大学院（文学研究科、法学研究科、経済学研究科）、さらに研究開発推進機構と教育開発推進機構を設置しています。グローバル化が進むなかで、國學院大學では異国文化理解にはまず自国文化の理解が必要と考えています。世界で活躍できるグローバル人材の育成をめざし、研究と教育を通じて日本の理解を深めると同時に、世界に対しての理解も深めていきます。



ブライム・ストラテジーの素早い対応で助かった

稼働した後で「KUSANAGI」によるテスト環境を作ってもらい、データを移行してもらいましたが、2倍程度速くなりました。

当初はHyper-Vの環境をそのまま「Microsoft Azure」に持って行く想定でしたが、ブライム・ストラテジーが「KUSANAGI」の環境を素早く用意して頂き、思った以上に速くなることが分かったため、すぐに「KUSANAGI」へ移す検討を開始しました。

Microsoftのアカデミックに対する対応が非常にありがたい

BCP対策としても定期的にタイミングが合っており、コスト的にも利用できるレベルにあると思っています。アカデミック向けのいろいろなサービスが提供されることもよかったと思います。非常にローコストで利用させて頂けて、学生も最新のクラウド環境を利用することができるのでありがたいと思います。授業でも使用していますが、「Office365」の快適な環境を学生に使っていただくことで、社会に出て最先端の技術に馴染んできると言うことが強みになると考えています。

國學院大學構成について

國學院大學はフロントにApache、PHP 7、DBにMariaDB Galera Serverを採用しています。最新のHTTP/2プロトコルに対応し、常時SSL環境にて運用しています。

KUSANAGI for Microsoft Azure

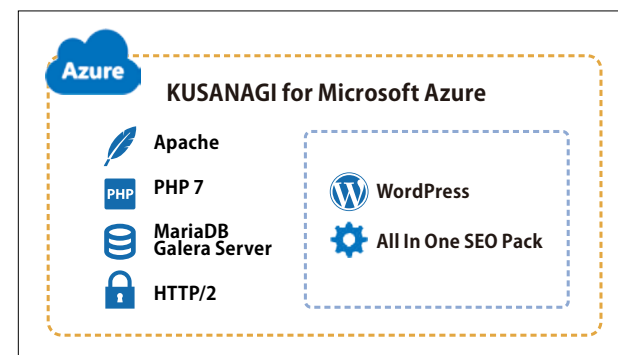
https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-microsoft-azure-arm/

KUSANAGIについて

https://kusanagi.tokyo/

KUSANAGI公式サポートサービスについて

https://kusanagi-hosting.com/



13個のバージョン違いのWordPressによるセキュリティ問題と速度遅延の解決方法

「昭和女子大学」

WordPressとミドルウェアのセキュリティ更新をしてもらえるので高いセキュリティレベルを担保できるといのは管理側からするとよいと感じました。

KUSANAGI for Microsoft Azure
大学公式サイト

- KUSANAGIフルマネージド
- マイグレーション
- WordPressアップデート
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- サーバアップデート
- 複数サイト
- セキュリティレベルの担保



■ お客様情報		
社 名：	学校法人昭和女子大学	サービスイン：2017年9月
サ イ ト 名：	昭和女子大学	利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure
サ イ ト U R L：	https://univ.swu.ac.jp/	
■ 旧サイトの課題		
・WordPress、ミドルウェアのアップデートが滞っており、セキュリティレベルの担保が困難		
・サイトの表示速度が遅い		
・常時SSL化対応		
■ サービス導入後の効果		
・最新の環境への更新が完了し、セキュリティレベルが担保されるようになった		
・サイトの表示速度が改善、管理負荷も軽減した		
・常時SSL化対応を完了させた		



女性のキャリア選択の範囲を広げてくれる昭和女子大学

2020年に創立100周年を迎える学校法人昭和女子大学は、詩人である創立者が、トルストイの理想とする教育を求めて創られた大学だ。こども園から大学院までの一貫教育体系を整え、さらに敷地内にブリティッシュスクールを設置、2019年には州立テンプル大学の日本キャンパスの誘致が予定されている。米国ボストンには海外キャンパスを構え、小学校からの留学プログラムを用意されている。

幼少期から外国との接点を持つことができるこの環境によって、将来、国際社会で活躍できる人材が多く育つであろうことは想像に難くない。また、同校の理事長・総長である坂東真理子氏は、きちんとした日本語を身に付ける

ことや、日本文化や伝統を理解することも大切にする必要があるとしており、そうしたのもも学び、大切にしながらも、時代に即した教育を受けられるということは同校の大きな魅力の一つではないだろうか。他にも、同校では学生のキャリアデザイン設計をサポートすべく、キャリア教育や、一人ひとりに合わせたサポート体制、社会人メンターなどの制度も積極的に取り入れており、女性のキャリア選択の範囲の拡大に大きく貢献している点も魅力だ。こうした環境で学んだ学生たちは、幅広い教養と豊かな人間性を育みながら、専門的な知識を身に付け卒業、各々の舞台上で活躍している。このような様々な魅力をもつ同校だが、現在、同校を取り巻く環境は変化しているという。学園本部 広報部 部長 保坂 邦夫氏はその変化について次のようにコメントしている。“いま学生募集では女子大ではなく共学と競合しています。なぜかといえば、共学の女子学生比率は増えています。特に文系は女子学生の比率が高くなり、結果として共学大学と競うことになっています。逆に家政系など女子大特有のマーケットは縮んでいるので、新しい分野を開拓しないと学生募集は厳しくなります。”

ユーザーフレンドリーなWebサイトを目指して

こうした大学を取り巻く環境や、Webサイトを取り巻く環境の変化に伴い、同校では10月にWebサイトのリニューアルを計画している。新着情報などの情報をわかりやすくし、入学希望者や学生、保護者など、見に来た人がすぐに欲しい情報にたどり着けるようにし、また、スマホからのアクセスが多いことを考えてのコンテンツ作りや、これまでPDFで見せていた情報などの見せ方を変えるなど、ユーザーフレンドリーなWebサイトにしたいと考えているという。そうした取り組みの中で、学部から発信される質の良いコンテンツを表に出したり、学生から情報を直接提供してもらえるような工夫も行うことなど、回遊率を上げるための策を考えているようだ。保坂氏はリニューアルについて次のようにコメントしている。“結局ユーザーフレンドリーにするにはどうしたらいいのかを考えています。デザインとかはいいけれど、使いやすいというのはどういうことなのか。今はほとんどが携帯で見ている。特に若者世代は1日に150ページも見ているそうです。1サイト当たり1分もない計算になります。今まで写真で見せていたものを30秒以内の映像で見せるのはどうかといったことも考えています。文字から画像、画像から動画というように広がっていけばいいのかなと。ユーザーが求めていることをやっていくということです。”

バージョンの異なるWordPressの乱立で起きたセキュリティ課題

このように自校のWebサイトの改善策を考えている同校であるが、現在のWebサイトが抱える問題の解消から取り掛かっている。現在のWebサイトにはバージョンが異なるWordPressが乱立しており、管理が煩雑化してしまっていた。また、サイト崩れの懸念のために簡単にはバージョンアップも行えず、セキュリティが担保できない状態になってしまっていたという。サイトの表示速度も経年の利用によって遅くなっており、大学の顔となるWebサイトであるからこそ、何とかしたいと考えていた。そこにWebサーバで使用していたCentOS5のサポート終了が重なり、新サーバへの移行をする必要がでてきた。そのため移行として様々な方法を検討していた中で、自分たちの要望を叶えられそうな「KUSANAGI」を採用することにした。業務部 情報メディア課 野沢 優人氏は検討時のことを振り返り、次のようにコメントしている。“運用の中でセキュリティが更新されるという点も評価しました。やっぱり大学の顔なので、セキュリティレベルが高くないといけなないと思うはずと持っていたんですけど、そこをなかなか保つことができてなくて。作業をして影響がでて、ホームページにアクセスできなくなるような事態になると困るなというので、手を出しづらかったのをお任せできる、かつ、WordPressとミドルウェアのセキュリティ更新をしてもらえるので高いセキュリティレベルを担保できるといのは管理側からするとよかったです。”

保守やセキュリティを意識しなくても問題が起きないという安心感

同校が実際管理していたWordPressは13個、サブドメインは30個も存在していた。それぞれのバージョンが異なっていた上に、管理者が把握していなかったWordPressも存在していたため移行には苦労したようだ。移行の際には表示トラブルが発見されたところもあったようだが、一度元の環境に戻したうえで、対処を行い、翌日には無事移行を完了させた。その際、SSL対応も済ませているという。今後は、9月にそれらのWordPressを統合し、10月にリニューアルする予定だ。最後に評価について聞いてみたところ、池田氏は次のようにコメントしてくれた。“今ちょうどGoogleがすべてのhttpサイトで「保護されていません」という警告を表示するという話があって、全サイト早めにSSL対応できたのはよかったなと思っています。保守プランにWordPress自動マイナーアップデートと定期メジャーアップデートが含まれているので、こちらが意識しなくても、システムが常に最新になっている安心感があります。”野沢氏にも聞いてみたところ、次のようにコメントしてくれた。“基本的にWordPressを使う環境であるなら私はおすすめできていると思っています。速度とセキュリティレベルを担保できるところはすごく大きいと思います。その2点については自前でサーバを立ててやっていくというのは、レベルが高いと思うので、そこをお任せできるというのは大きいと思います。”

インターキャスト、青山学院 サイト構築

日本を代表する総合学園である青山学院のリニューアルと業者選定の決め手とは

「青山学院公式サイト」

数万単位という、かなりのアクセスが集中する日もありましたが、ダウンする事も無く稼働しています。まさに「KUSANAGI」導入効果です。

KUSANAGI for Microsoft Azure コーポレートサイト

リニューアル

高速化チューニング

KUSANAGIフルマネージド

レスポンスの高速化

セキュリティ強化

運用コスト削減

PV数向上

常時SSL化

高アクセス対策

技術相談

安定稼働

迅速な対応

■ お客様情報	
運 営 会 社：インターキャスト有限公司	利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure
サ イ ト 名：青山学院公式サイト	
サ イ ト U R L：https://www.aoyamagakuin.jp/	
■ 旧サイトの課題	
・前サイト構築から時間がたち、リニューアルの時期が来ていた。	
・大量アクセスがあった場合でもストレスなく閲覧できるサイトを構築したかった。	
■ サービス導入後の効果	
・サイトの表示速度を落とすことなく、画像を多用したリッチなコンテンツを提供できるようになった。	

日本を代表する総合学園である 青山学院のリニューアルと業者選定の決め手とは

青山学院の建学の精神は、「永久にキリスト教の信仰のもとでついで行われる教育」であり、スクール・モットーとして「地の塩、世の光」を掲げている。幼稚園から大学までの各学校法人の運営にあたってもこの建学の精神に基づき進めており、好評を博している。青山学院は今や日本を代表する総合学園の一つとして知られている。

一方、青山学院はその建学の精神や教育方針、ビジョン、取り組みなどの特徴をアピールするために公式Webサイトを運営してきたが、気が付けば、前回リニューアルをしてから数年が経過していた。アクセス数も駅伝などで増加していたり、モバイル対応が必要になるなど、従来のWebサイトではカバーしづらい点が出てきていた。そこで、青山学院は数年ぶりにWebサイトのリニューアルを検討するに至る。

Webサイトリニューアルに伴い、青山学院が強化しようと考えた施策は以下の通りである。

- 施策1. 青山学院の特徴紹介コンテンツを更に強化
- 施策2. レスポンシブWebデザインの採用
- 施策3. CMSによる管理効率の向上とデザイン性両立



インターキャスト 代表取締役社長 高木 大氏

その対応はとてもスピーディーかつ深い内容の対応でした。実際に午前中にお問い合わせをし、午後に回答をいただき、翌日に具体的な打ち合わせができるほどのスピード感で対応いただきました。しかも説明を少し聞いただけで、WordPressやサーバー環境のテクニカルな理解も深さが伺え、契約前からかなり柔軟且つスムーズに対応いただきました。今回、パートナーとしてプライム・ストラテジーを選んだのは、その適切かつ迅速な対応がよかったからです。」

「KUSANAGI」を使わなかったら、WordPressの運用は考えられない。 画像が多くてリッチなWebなのに速い。負荷がかかっても速い。

青山学院の内部では、WordPressのコンテンツ管理のしやすさは理解されていたが、コンテンツの増加や、画像を多用するなどのリッチなコンテンツにすると、どうしても表示速度が低下してしまうという認識から、そこがネックとなり、当初検討から外れていた。

しかし、インターキャストとプライム・ストラテジーによるWordPress+「KUSANAGI」の提案により、WordPress最大のネックであるパフォーマンスの問題が払しょくされ、また「KUSANAGI公式サポートサービス」により、万が一の場合の保守対応も得られるため、採用に至る。

WordPress+「KUSANAGI」+「KUSANAGI公式サポートサービス」の組み合わせは多くの事例でも評価されている通り、超高速、且つ、管理が容易で保守も万全な理想的なCMS環境なのである。

WordPress+「KUSANAGI」による新サイトオープン後、数万単位という、かなりのアクセスが集中する日もあったが、これまでダウンする事も無く稼働している。これはまさに「KUSANAGI」導入効果である。



インターキャストのご紹介

「全てのお客様にウェブコミュニケーションを」をミッションに2000年に設立。コンサルティング・プランニング・制作をワンストップで実現させるトータルウェブソリューション業務を中心に事業を展開。国内外政府機関及び教育機関ウェブサイト制作、その他多数大手企業ウェブなど豊富な実績を有す。スムーズかつスピーディーに業務を進める姿勢がお客様に好評を博している。

インターキャストWebページ：http://www.intercast.co.jp

早稲田大学弓道部

早稲田大学弓道部

「早稲田大学弓道部」

サーバとWordPressの両方を保守いただけることで、管理を安心して任せられると共に、部内のWeb担当者は記事更新にのみ注力すれば良くなり業務を引継ぎしやすくなりました。

KUSANAGI for ConoHa

情報サイト

スマートフォン対応

レスポンスの高速化

管理画面高速化

リニューアル

セキュリティ強化

常時SSL化

運用効率の改善

運用コスト削減

高アクセス対策



■ お客様情報	
団 体 名：早稲田大学弓道部	サ ー ビ ス イ ン：2017年1月
サ イ ト 名：早稲田大学弓道部公式サイト	利 用 製 品：KUSANAGI for ConoHa
サ イ ト U R L：https://www.waseda-kyudo.net/	KUSANAGIマネージドプラン
■ 旧サイトの課題	
技能不足から毎年の新担当者に交代する際にWebサイトの管理がおろそかになりがちだった。Webサイト保守委託会社がWeb業務から撤退され、委託先がない状態だった。スマートデバイス対応ができていなかった。	
■ リニューアルの効果	
スマートデバイス対応を実現できた。サーバとWordPressの両方を合わせたトータル保守を実現できた。	



早稲田大学 弓道部 監督
庭田 裕巳様

新しいWebサイトではスマートデバイス対応を一番の目的にしました

以前委託していたWebサイト保守会社の事業撤退に伴い、保守業務委託先や使用サーバの変更を考える必要が出てきたことから「KUSANAGI」の検討がスタートし、縁あってプライム・ストラテジーを業務委託先の候補として検討しました。プライム・ストラテジーは業務委託先として安心出来る会社であるものの、当方の規模や内容に合った費用で請け負っていただけるか不安でしたが、希望に合わせて調整をしていただき、併せてWebページのリニューアルもお願いすることができました。

今回の新しいWebサイトへのリニューアルでは、スマートデバイス対応を一番の目的にしました。以前のWebサイトはスマートデバイスに対応していなかったため「画面が見難いので、よく見ていません」と言われ衝撃を受けたことがあり、リニューアルの際にはこの点を最優先項目にしようと考えていま

した。Webサイトは当弓道部の第一印象を左右する重要な要因となってきましたので、弓道部の発展に貢献できるようなWebサイトを運営していきたいと考えています。

スマートデバイスに対応していないWebサイトはしだいに閲覧されなくなる傾向があります

早稲田大学弓道部のWebサイトは、入部希望者および保護者など関係者の方、あるいは何らかの事情で早稲田大学弓道部のことを知ろうとする外部の方々に対して、弓道部の方針や沿革、活動内容や試合結果など、そして部の雰囲気も知ってもらうために見ていただくサイトです。「早稲田大学 弓道部」で検索して、表示される内容を見たら道場へ見学に行きたくなるようなWebサイトを目指しています。

例えば、Topページのプロモーションビデオは毎年製作し直しています。一週間の練習イメージや年中行事の流れ、学校生活と弓道部に関連する部員コメント（授業優先、学部の違い、アルバイトなど）や、初心者用のQAページを作っております。また、試合結果や過去の戦績も掲載しています。

最近の傾向として、Webサイトはその見た目の印象で物事が把握されたり判断が左右されるような重要な存在になってきていると思います。そして、ほとんどの学生や保護者の方がスマートデバイスでWebサイトを閲覧しているのではないかと思います。スマートデバイスに対応していないWebサイトは、しだいに閲覧されなくなる危険を感じています。Webサイトを「スマートデバイスで見やすくする」点に特にこだわりました。

サーバとWordPressの両方を保守いただけることで、業務を引継ぎしやすくなりました

「KUSANAGI」を用いたWebサイトのリニューアルにより、何のストレスもなくページ閲覧ができるようになりました。表示ページも管理ページも速くなった印象があります。以前はクリックしても表示がワンテンポ遅れる感じがしていましたが、今はすぐに切り替わるようになりました。また、以前の保守管理体制はWebページの構造保守のみで、サーバの保守管理はされていない状況でした。本Webサイトは大学弓道部の公式サイトでもあるため、代替わりのたび毎年Web担当者が変わります。Web担当者間で記事の更新方法は引き継がれてきたものの、サーバやWordPressの保守管理やスキルを磨く時間があれば、少しでも練習時間を増やしたいと常に部員は思っています。今回はサーバとWordPressの両方を保守いただけることで、管理を安心して任せられると共に、部内のWeb担当者は記事更新にのみ注力すれば良くなり業務を引継ぎしやすくなりました。

導入前に実施していただいた講習は、とてもわかりやすい説明でした

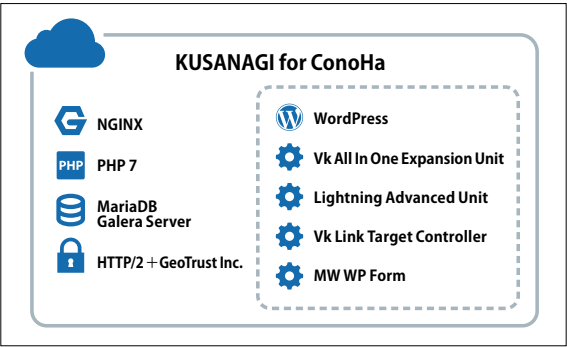
Webサイトリニューアル作業はSI事業部相原様を窓口として易しく丁寧にございました。既存のWebサイトのイメージを保ちながらスマートデバイスにも対応するという作業になり、当方のイメージをWordPress上に実装する段階で手間取る点もありましたが、質問に対して迅速な回答でわかりやすく説明をしていただきました。また、新Webサイトのカットオーバーに際してWordPress講習も実施いただき、とてもわかりやすい説明でした。

早稲田大学弓道部 構成について

早稲田大学弓道部のサービスは、フロントエンドにnginx x、PHP7、DBにMaria DB Galera Serverを採用しています。

KUSANAGI for ConoHa
https://kusanagi.tokyo/cloud/kusanagi-for-conoha/

KUSANAGIについて
https://kusanagi.tokyo/



独立行政法人国際交流基金

「日本語能力試験 オンライン登録システム」

コミュニケーションが密で回答が速く、技術と経験に基づいた説明もわかりやすかったです。

KUSANAGI for INFINY

オンラインシステム

- CMSサイト開発パッケージ
- KUSANAGIフルマネージド
- 多言語化
- レスポンスの高速化
- セキュリティ強化
- 運用コスト削減
- PV数向上
- 常時SSL化
- 高アクセス対策
- 多言語窓口対応
- 的確な提案



■ お客様情報

運 営 団 体：独立行政法人国際交流基金 サ ー ビ ス イ ン：2017年3月
サ イ ト 名：日本語能力試験オンライン登録システム 利 用 製 品：KUSANAGI
サ イ ト U R L：https://jlptonline.or.id KUSANAGI公式サポートサービス

■ サイト構築前の課題

従来は受験申込受付をすべて紙の願書で行っており、申込者数の集計、手書きの読み取り等、事務が煩雑だった。インドネシア全10都市で実施する試験の願書を物理的に発送し、記入後のものを返送するといった一連の手配コストがかかっていた。

■ 超高速WordPress仮想マシン「KUSANAGI」の活用効果

アクセスが集中した時でもパフォーマンスは安定していた。シンプルで使いやすい3か国語に対応したサイトを構築できた。大きな問題が発生することなく、Webサイトを立ち上げることができた。

インドネシアに拠点があることは心強く、 また丁寧で分かりやすい説明でした

当時、日本語能力試験受験者のオンライン登録を世界的に進める方針が打ち出され、インドネシアでも導入を進めることになりました。委託会社の選定にあたっては、企画競争を実施し、その結果、プライム・ストラテジーが選ばれました。

プライム・ストラテジーは、インドネシアに拠点をっており、提案内容は、WordPressという汎用性あるソフトを使用したもので、今後の修正や拡張が容易な利点があり、またインドネシアの環境を理解した優れたものでした。日本語・インドネシア語の両言語での説明も丁寧でわかりやすく、将来に起こりうるリスクや可能性についてもしつ

かりとした解説があり、安心して依頼できるパートナーであると判断され採用となりました。

総合的に国際文化交流事業を実施する、日本で唯一の専門機関

独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation) は、世界の全地域において、総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。世界と日本人の間で、お互いの理解を深めるため、さまざまな企画や情報提供を通じて人と人をつなぐ場をつくり、人々の間に共感や信頼、好意を育んでいきます。

独立行政法人国際交流基金 <http://www.jpf.go.jp/j/>

日本語能力試験 (JLPT) は、日本国内および海外において、日本語を母国語としない人を対象として日本語の能力を測定し、認定することを目的として行う試験です。

日本語能力試験 <http://www.jlpt.jp/>

インドネシア現地のスタッフも日本の文化やビジネスをよく理解している仕事ぶりです

コミュニケーションが密で回答が速く、技術と経験に基づいた説明もわかりやすかったです。例えば、オンラインで受験者が自分で登録を行い、事務局がアドミン機能で確認・承認する形なども、業務を理解した経験から出てくる説明でした。今回、プライム・ストラテジー・インドネシア法人の社長であるダエン・マロワ氏にもご対応頂きましたが、インドネシアの環境のみならず、日本の文化やビジネス、技術にも精通された仕事ぶりでした。

インドネシアはインターネットの環境が弱いのでパフォーマンスが大事

インドネシアでは日本語能力試験の人気が高いため、公開当初登録が殺到して遅くならないか心配でしたが、問題なく動作しました。またインターネットの環境が弱いのでパフォーマンスが重要です。「KUSANAGI」は十分な通信速度が得られ、その点でも評価しています。

今回は3か国語に対応した多言語サイトですので、構築はできる限りシンプルにしたいと考えました。またユーザーはインドネシア人ですので利用者の感覚や発想はインドネシア人のものになります。そのためインドネシア人が直感的に使えるようなデザインにする必要がありました。さらにインドネシア語独特のIT系の言い回しなども気を付けなければなりません。こうしたインドネシア環境全般について、日本とインドネシアの両方の文化を理解している、プライム・ストラテジー・インドネシア法人の社長であるダエン・マロワ氏の意見が役に立ちました。

スムーズな導入ができて感謝

プライム・ストラテジーは過去の経験からITの発注側の知識やニーズに合わせて、提案し、保守を引き受けてくれました。多言語対応なども含めて、大きな問題がなくスムーズな導入ができ、感謝しております。

日本語能力試験オンライン登録システム

サイト構成について

日本語能力試験オンライン登録システムのサービスでは、フロントにApache、php-fpm、DBにMariaDB Galera Serverを採用しています。

KUSANAGIについて

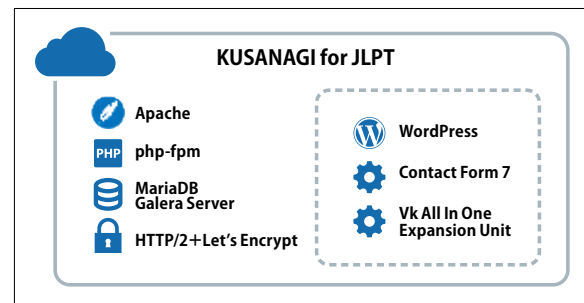
<https://kusanagi.tokyo/>



(写真右) プライム・ストラテジーインドネシア
Daeng Marowa



独立行政法人国際交流基金
後藤 愛様



長年日米交流に貢献し続けている日本クラブ

「The Nippon Club」

「KUSANAGI」の導入とサーバのアップデート、二重認証を導入することによってセキュリティに強い環境を作り上げることができました。

KUSANAGI for Microsoft Azure

コーポレートサイト

KUSANAGIフルマネージド	マイグレーション	
レスポンスの高速化	セキュリティ強化	運用コスト削減
PV数向上	常時SSL化	高アクセス対策
サーバアップデート	機能改善	的確な提案



■ お客様情報

社 名：日本クラブ
 サ イ ト 名：The Nippon Club
 サ イ ト U R L：https://www.nipponclub.org/?lang=ja
 サ ー ビ ス イ ン：2018年5月
 利 用 製 品：KUSANAGI for Microsoft Azure

■ 旧サイトの課題

- ・セキュリティホールがあり、急いで対応する必要があった
- ・旧サイトの完成度が低く、アップデートなどもされていなかった

■ サービス導入後の効果

- ・「KUSANAGI」の導入することでセキュリティを強化できた
- ・サイトで実現したいことを整理でき、段階的に取り組むことができる体制ができた



日本クラブ 事務局長 佐藤 元広様

長年日米交流に貢献し続けている日本クラブ

日本クラブは、1905年に設立され、ニューヨーク駐在員同士の交流や、日米交流の懸け橋として活躍している会員制の社交クラブだ。科学者である高峰譲吉氏が初代会長を務め、海外に住む日本人同士の相互扶助を目的として立ち上げ、その交流を通して同胞たちの心を支え続けてきた。また、日米交流の懸け橋としても重要な役割を担いつつ、時代の流れに応じた新たなミッションにも対応するなど、日米の良好な関係を築くためには同団体はなくてはならない存在だ。

所属メンバーは企業、個人とで構成されており、会員のために用意された日本クラブ会館は、誰もがゆったりとくつろげる快適な空間となっており、四季折々の日本料理が味わえるレストラン、各種パーティーやセミナー、ミーティングなど多目的利用が可能だ。また、講演会や食文化イベント、屋外スポーツ大会、ギャラリーでの企画展示、カルチャー

スクールなど、多彩なアクティビティも用意し、日本文化を広める役割も果たしている。

しかし、年々日本人の派遣駐在員は減少傾向にあるという。この新たな局面を迎える中、より多くの日本の魅力を伝えることで、日本人駐在員のみならず、現地採用の日本人やアメリカ人会員の獲得も目指している。そのためにはWebサイトの改善が必要と考え、取り組むことになった。

やりたいことを着実に現実にするための業者選び

以前のWebサイトは非常に中途半端な内容で、未完成のまま放置された状態だった。搭載された機能が十分な役割を果たしていない上に、構造自体も中途半端で、管理画面の使い勝手も良いとは言えなかった。この状態を脱却するためにも、まずは見た目を改善しようと考えWeb制作会社を探し始めたが、検討を進めていくうちにセキュリティ面の課題を抱えていることが判明した。

同時期に外部からの注意喚起もあり、セキュリティ対策が急務と考えるようになったという。また、カルチャー講座のシステム管理改善や、オンラインでの講座申込み・決済などの機能を搭載させたいという要望も上がり、優先順序を定めて段階的にアップデートしていくことになった。

そこで、セキュリティ対策、オンライン決済機能といった要望をかなえられる業者を探すことになった。ウェブサイト担当の東海 砂智子氏は当時のことを振り返り、次のようにコメントしている。“プライム・ストラテジーから連絡がきたタイミングがよく、漠然としていた要望をお話ししていく中で、当初考えていた目に見える部分よりも、まずセキュリティ強化を最優先にすべきだと方向性が見えてきました。最終的に残った2社のうち、1社は目に見える部分とマーケティングが得意だったのに対し、プライム・ストラテジー社に提示された総合的なプランの方が弊社が目指すものにぴったりだと判断しました。”

堅固なセキュリティ環境の実現とともにサイトの表示速度を改善

こうして、プライム・ストラテジーに委託することが決まり、プロジェクトは始まった。まずは予定通りセキュリティ対策から取り掛かり、「KUSANAGI」の導入とサーバのアップデート、二重認証を導入することによってセキュリティに強い環境を作り上げた。その後、トップページに必要な項目の追加を行い、満足のいく出来となったようだ。「KUSANAGI」導入後について、東海氏は次のようにコメントしている。“社内のネットワーク環境がビルでの共有環境であることもあって、スピードが劇的に改善したかどうかは未だよくわかりません。ただ、アクセスが集中していないタイミングで見ると、すごく早くなったなと感じます。”

会員の使い勝手向上のために取り入れたい決済機能

今後は、日本クラブとカルチャー講座の会員情報の統合や、会員の使い勝手向上のために、オンライン決済などの機能を取り込んでいく予定で、すでにカルチャー講座の機能改善に取り掛かっているという。東海氏は今後の展望について次のようにコメントしている。“まずはカルチャー講座の受講生に試してもらい、オンラインになったことでどれだけ効率がよくなるか、使い勝手がよくなるかを実践してみたいと思います。『これだ!』となれば、いざいイベントを開催する時などに、Webサイトを通じた申込みやオンライン決済を導入していきたいと思います。年間でもかなりの数のイベントがあり、有料の時には参加費の徴収や管理がととても大変です。Webサイトでできるようになれば、参加者も管理側も楽になるのではないかと考えています。”

また、佐藤 元広氏は体制への要望として次のようにコメントしている。“アクティビティやカルチャー講座のそれぞれの担当者だけではなく、他の部門とも連携してより良いWebサイトを作り上げてもらえれば、と思っています。”



超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」とは

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」(以下「KUSANAGI」)は、プライム・ストラテジー株式会社が開発・構成する、CMS を高速に動作させるための仮想マシンおよびそのイメージです。WordPress の実行時間 3 ミリ秒台、秒間 1000 リクエストをページキャッシュ非使用で実現する世界最高速クラスの CMS 実行環境です (*1)。

KUSANAGI の特徴

KUSANAGI は WordPress を始めとした各種 CMS 環境から、PHP、MySQL で動作する LAMP 環境まで、様々な環境を高速に動作させることが可能となります。

Web サイトが遅い、重い

超高速 CMS 環境

超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」はあなたの Web サーバを通常の約 10 倍の速さにブーストさせます。ぜひこの速さをご体験ください。

Web サイトが安全に

高セキュリティ Web サイト

常時 SSL を高速な環境のまま導入するには実は最新の Web サーバが必要です。Let's Encrypt と HTTP/2 対応など、「KUSANAGI」は常に最新の環境を提供しています。

より強い SEO 効果へ

最新の SEO に効果的

高速化も常時 SSL 化も最新の SEO には重要なファクターです。「KUSANAGI」はさらに強力に SEO の効果を発揮します。



PV 数、回遊率向上 収益性を高めます

「KUSANAGI」の導入で約 40% の PV 数向上を実現した実績もあります。メディアサイトなら収益性が向上します。コーポレートサイトなら SEO 効果が高くなります。



企業イメージを守ります

脆弱性の対応にはそれなりに工数がかかります。アプリケーションリポジトリによるアップデートを可能とした「KUSANAGI」なら常に最新の環境が企業のデータを守ります。



マーケティング効率を向上します

Google が目指す最新の SEO にはユーザー体験が含まれます。「KUSANAGI」は高速化から常時 SSL 対応までワンストップで実現可能です。マーケティング担当者はコンテンツに注力しましょう。

パフォーマンス測定結果

プライム・ストラテジー内部のパフォーマンス測定結果では、以下の処理能力を実現しています (*2)。

ab-n 10000-c 300 https://kusanagi.tokyo/

Server Software	nginx
Server Hostname	kusanagi.tokyo
Server Port	80
Document Path	/
Document Length	6952 bytes
Concurrency Level	300
Time taken for tests	9.643 seconds
Complete requests	10000
Failed requests	0
Write errors	0
Total transferred	71680000 bytes
HTML transferred	69520000 bytes
Requests per second	1036.97 [#/sec] (mean)
Time per request	289.305 [ms] (mean)
Time per request	0.964 [ms] (mean, across all concurrent requests)(*2)
Transfer rate	7258.78 [Kbytes/sec] received

*1 最大性能時。実行する仮想マシンインスタンスの性能や Web サイトの内容（機能、データ量など）に依存します。
*2 このテストでは 4 コア（4vCPU）の仮想マシンを利用しているため、WordPress の実行時間は 0.964 ミリ秒に 4 を乗じた 3.856 ミリ秒となります。

※本事例集に掲載されている会社名、商品・サービスの名称は、それぞれ各社が保有する商標または登録商標です。 ※サービス名は提供時のものです。

お問い合わせ・詳細は KUSANAGI マネージドサービスサイト、またはお電話で

🏠 <https://kusanagi-hosting.com/inquiry/>

📞 **03-6551-2996** (受付時間: 9:00~18:00 / 月曜日~金曜日)



プライム・ストラテジー株式会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア イーストタワー18F
TEL:03-6551-2996 FAX:03-6551-2941
<https://www.prime-strategy.co.jp/>